



第2号 2020年4月

リマ日本人学校 長屋 裕美

国家緊急事態令下の生活

世界中が大変な状況ですが、ペルーの感染者も4月25日現在で2万人を超えていました。日本が最初の全国一斉休校措置をとった頃、ペルー国内にまだ緊迫感はなく、3月10日に修了式を予定通り終えて年度末休業に入りました。しかし感染者が徐々に増え出し、3月15日に国会緊急事態令が発令された途端、生活が一変しました。翌日の16日にはペルーの陸・海・空・河川全ての国境が封鎖され、日本のニュースでも取り上げられたように多くの邦人観光客が国内に取り残されました。このスピード感には本当に驚きました・・・。そして学校は全て休校、買い物や通院以外の外出禁止ということで、家から全く出ない生活が始まりました。私と夫は時々買い物に出かけますが、子どもたちは1ヶ月以上、外に出ていません。今は日差しがまだ強い時期なので、ベランダで日光浴できることが救いですが、体力の低下がとても心配です。日本の家族がマスクや食料を送ってくれましたが、ペルーへの国際郵便はストップしており返送されてしまったようです。日本とペルーの遠さを実感しました。緊急事態令は当初2週間の予定でしたが他国と同様、延長に延長を重ね、今のところ5月10日までとされています。買い物は自由にできますが、レストラン等は一切営業しておらず、デリバリー・テイクアウトも利用できません。5月からは、飲食店従業員の生活を守るためにデリバリーが可能になるようです。家の中での生活にストレスはありませんが今後の見通しが全く立たないことがやはり不安です・・・。



スーパーの行列。

2時間並ぶ時もあります。

手探りのオンライン授業

国家緊急事態令が発令されたことでペルー国内の学校はオンライン授業に切り替わり、日本人学校もオンライン授業の進め方を模索し始めました。出勤は認められていないため、自宅からZOOMでオンライン会議を毎日行いながらオンライン授業の研究を始めました。外出が一切できない子どもたちへのサポートとして、3月31日から1日30分のオンライン学習支援が始まりました。私は昨年度受け持った4年生4人と、算数や国語の復習を行いました。そして4月15日にオンライン始業式を全校児童生徒33名で行い、翌日から1日4~6時間のオンライン授業を開始しました。ネット環境によっては接続がうまくいかずには焦る時もありますが、何とかリズムを掴み始めています。教室だと実演して見せれば済むものも、パソコンを通してだと時間や手間がとてもかかります。私は低学年を受け持っているため、自分がノートに書く様子を見せるために「ミラーリング」という機能を使い、スマートフォンを書画カメラとして活用しています。我が家は小3と小1の子どもがおり、平日の午前中は自宅で3パターンのオンライン授業が繰り広げられています。いつまで続くのかという不安だけですが、やるしかありません。

駐夫からの一言 配偶者同行休業制度を使ってペルーに来た夫からのメッセージ

娘が小学校に入学！と思ったらまさかのオンライン始業式。入学式もランドセルもしばしお預けです。学校生活で初めての授業がオンラインなのですから、まさに令和の子。PCに不慣れな子ども2人が授業を受けていますので、父ちゃんは常に傍らに待機しつつ、隙をついての家事。専業主夫もなかなか大変です。それにしても、初めてオンラインでの授業を実践している先生方には頭が下がります。ビデオを観たり課題に取り組んだりするのではなく、完全授業。ありがとうございます。そしてお疲れ、妻よ。…自分もzoomで、世界に散らばる駐夫とオンライン飲み会に挑戦しました。世界中で頑張っている人たちがいます。日本の先生方も体調に気をつけながらご活躍ください！